Q. NPOや企業がもつ教育プログラムを効果的に導入したい。

A. 小平市立小平第二中学校では、学校教育コーディネーターが、独自のキャリア教育を進めるＮＰＯ法人キーパーソン２１をつないで、授業を展開しました。

独自のキャリア教育プログラムをもつＮＰＯ法人キーパーソン２１を小平第二中学校の学校教育コーディネーターが学校に紹介しました。さらにコーディネーター自身が研修を受け、アシスタントとして授業に入りプログラムを展開しました。

＜今回のキャリア教育プログラム＞

「好きなものビンゴ」と「お仕事マップ」というプログラムでした。「好きなものビンゴ」は自分の好きなものをシートに書き、ビンゴゲームを楽しみながら自分や友達の好きなものや夢を知ります。「お仕事マップ」は自分の好きなことからイメージマップの手法で職業について考えます。２つのゲームは「将来何になりたい？」と尋ねるのではなく、ゲームを楽しみながら今の自分の得意なことに気付き、自立を考えることができる内容でした。プログラムの内容をよく理解して進めるファシリテーターが重要な役を果たしていました。

グループで楽しくゲームをしながら自分について知る。

「将来の夢が増えました。」

子どもたちの感想

「自分は特技がなくできる仕事はないと思っていたけど、動物好きだってことがいろいろな職業につながるんだということが分かりました。」

「『～が好き。』からいろいろな職業があり、役割があることが分かりました。よく考えるといろいろな人がかかわっているんだなあと思いました。」

NPO法人「キーパーソン21」

「一人でも多くの子どもたちに感動を与えよう」を合言葉に、①子どもたちに自分の将来について考えるきっかけを持たせ、②視野を広げて社会へ出ることの自覚と自立心を促し、③自己実現へ向かって進める喜びを知ってもらいたいという理念のもとに、子どもたちのためのキャリア教育支援を行っている。

具体的な活動としては、生徒が「自分を知る」「世の中を知る」「自立を考える」という生徒自身が考えることを支援するためのゲーム感覚のワークショップ「ハッピー・キャリア・プログラム」という教育プログラムを展開している。今回のプログラム以外にも「お仕事からのプレゼント」「おにぎり一個の仕事」「なるにはシート」「お仕事トランプ」などのプログラムを開発している。小学生の段階から使えるものもある。さらに「おもしろい仕事人がやってくる」という、誇りを持って仕事をする社会人に、その人の生き様や仕事について生徒へ話してもらう場をコーディネートしたり、大人向けのイベントも企画している。

先生方の話「これからに生かしたい」

キーパーソン21のプログラムは子どもたちの視野を広げられ、自分の将来を考えるきっかけづくりになりました。これを導入していなかったら、教員が分かっている範囲の中での授業しかできなかったと思います。これから次にどうつなげていくか考えていきたいです。

小平二中小松校長先生の話「新しい視点を学んだ」

「どんな仕事に就いてみたい？そのためにどんなことをすればいい？」という従来の進路指導だと、どこかで夢が絶たれることが多いのですが、キーパーソン21の発想は全く逆でした。これからは「好きなことは何？それを生かすために、どうしていきたいか」という考え方に立ってキャリア教育を進めるべきだと感じました。

コーディネーターが　うまくつないで

コーディネーターの方の話　「先生方のきっかけづくりとして導入しました。」

ファシリテーターとアシスタントが役割を分担してプログラムを展開する。

今回はただ外部のプログラムを全部導入するだけでなく、先生方にキャリア教育を工夫していただくきっかけにしたくて、キーパーソン21のプログラムを導入しました。そのためにファシリテーター養成講座に自分たちも参加して研修を受けました。そして実際にアシスタントファシリテーターとして授業にも入りました。今回のキャリア教育の授業が先生方からも子どもたちからも「よかった。」という感想をいただけたことがとてもよかったです。

効果的な授業が　展開できた

キーパーソン21　朝山あつこさんの話　「学校がいい体制をつくってくれて成功した。」

プログラムを効果的に実施できるようにファシリテーター養成講座を開いています。実際の授業では外部の者がファシリテーターをする方が子どもたちにとっても新鮮ですが、先生方にもプログラムを理解し支援していただきたいので、その研修会に先生方にもぜひ来ていただきたいと思っていました。

今回は、先生やコーディネーターの方が基礎講座を受講してくださいました。そして内容を理解していただいた上で、先生方が事前指導をしてくださったり、コーディネーターの方々がアシスタントをしてくださったりしました。子どもたちのことをよく知っている先生やコーディネーターの方々と一緒にできる体制が作れたことで今まで以上に成功したのだと思います。

朝山さん
「終了後に先生方と懇談して、感想などいろいろ話を伺えたのもよかったです。」